

市議会だより おおだ

No. 35

2014(平成26)年5月22日発行

4月臨時会

- 正副議長選出 …… 2
- 各常任委員会等役員決定 …… 2

3月定例会

～平成26年度一般会計予算可決

総額243億6500万円～

- 本会議で審議された議案…………… 3
- 一般質問に10人 ……………… 8
- 特別委員長報告…………… 14

大田市議会新体制スタート

正副議長就任あいさつ

私どもは、過般四月の臨時市議会においてご推挙いただき、正副議長の要職を務めさせていただくことになりました。誠に身に余る光栄でありますとともに、その職責の重大さを痛感いたしております。

現在、当市にあつては新市立病院の建設・医療充実をはじめ、人口定住、少子高齢化、中山間地対策、産業振興など課題が山積いたしておりますが、議決・監視機関としての役割のみならず、二元代表の一翼を担う機関として積極的に政策提言も行うなど、皆様のご期待にこたえるべく、市民福祉の向上に全力で努力してまいります。

今後とも、皆様の格別のご理解、ご協力をお願い申し上げます、ごあいさついたします。

副議長
河村 賢治



議長
松葉 昌修



◎委員長 ○副委員長

常任委員会

総務教育 7名	◎小林 太 松葉昌修	○三浦 靖 松村信之	石橋秀利 胡摩田弘孝	有光孝次
民生 6名	◎林 茂樹 石田洋治	○月森和弘 森山幸太	清水 勝	福田佳代子
産業建設 7名	◎塩谷裕志 内藤芳秀	○小川和也 河村賢治	木村幸司 森山明弘	大西 修

行財政改革特別委員会 9名

清水 勝 石橋秀利 福田佳代子 木村幸司
松村信之 三浦 靖 小川和也 森山明弘
森山幸太

議会運営委員会 7名

◎内藤芳秀 ○有光孝次 清水 勝 大西 修
林 茂樹 小林 太 松村信之

広報広聴委員会 8名

◎河村賢治 ○石田洋治 大西 修 松村信之
三浦 靖 小川和也 森山明弘 森山幸太

監査委員(議会選出) 1名

木村幸司

大田市土地開発公社役員 8名

理事 石橋秀利 塩谷裕志 月森和弘 大西 修
小林 太 松村信之 小川和也
監事 石田洋治

3月定例市議会

本議会で審議された内容

市長提出議案

【予算議案】

〔23件とも原案可決〕

▼平成26年度大田市一般会計予算「賛成多数」

平成26年度一般会計の予算規模は総額243億6500万円で、対前年度当初比5・2%減となっています。

歳入では、市税が対前年度比1・2%の増、ごがなかなか大田ふるさと寄付金、石見銀山基金寄付金などが40%の増となる一方で、事業の廃止に伴う、国からの交付金・補助金等が15・7%の減、基金からの繰入金金が23・9%の減となっています。

歳出では、第一中学校体育館の改築や川合小学校体育館等の耐震化、新防災行政無線や消防救急無線の広域化・共同化整備事業、携帯電話の不感地域解消に向けた取り組みなど、市民の安全・安心を確保するための基盤整備となる事業をはじめ、大田市立病院の新病院建設や経営安定化に向けた取り組み、産業振興「ビジョン」に掲げた「大田市産業支援センター」を活用した各種産業振興施策、新不燃物処分場の整備による環境対策や子育て支

援策等に、引き続き取り組んでいくこととしています。

また、消費税引き上げに伴う低所得者や子育て世帯への影響緩和策として、臨時給付金給付事業についても予算措置を行っています。

【条例議案】

〔19件とも原案可決〕

▼大田市消防長及び消防署長の資格を定める条例制定「全会一致」

消防組織法の一部改正に伴い、消防長及び消防署長の資格の基準を規定するものです。

▼大田市災害派遣手当等に関する条例制定「全会一致」

災害等発生時における市町村間で相互応援する職員の派遣を円滑に実施できるよう、災害派遣手当等に関する所要の事項を規定するものです。

▼大田市病院事業管理者の給与等に関する条例制定「賛成多数」

本年4月1日から病院事業に事業管理者を設置することとなるため、事業管理者の給与及び旅費について、条例を新設するものです。

▼大田市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例制定「賛成多数」

本年4月1日から病院事業が地方公営企業法の全部適用となることに伴い、病院事業職員の給与の種類及び基準について、条例を新設するものです。

▼大田市職員の給与に関する条例の一部改正「賛成多数」

平成18年の地域給導入による給料表の改定に伴い、経過措置として実施していた現給保障について、段階的に廃止する旨の人事院勧告がなされたことから、所要の改正を行うものです。

▼大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正「全会一致」

本年4月1日から「湯里まちづくりセンター」を旧湯里小学校に移設することから、所要の改正を行うものです。

▼大田市生活バス運行に関する条例の一部改正「全会一致」

本年4月1日に大田西中学校が開校することに伴い、生徒の通学に生活バス井田線を活用することとしたため、所要の改正を行うものです。

▼大田市国民健康保険条例の一部改正「賛成多数」

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、賦課限度額の引き上げや保険料軽減判定の基準の緩和など、所要の改正を行うものです。

▼大田市病院事業基金条例等の一部改正「賛成多数」

本年4月1日から病院事業が地方公営企業法の全部適用となることに伴い、権限者を「病院事業管理者」に改めるなど、関係条例について所要の改正を行うものです。

▼大田市サンレディー大田の設置及び管理に関する条例の一部改正「全会一致」

機器の更新等に伴い、付属設備器具の料金表を改めるものです。

▼大田市小規模集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正「賛成多数」

三瓶町野城「野城報徳会館」について、指定管理期間が満了し、野城報徳会（自治会組織）への譲渡を行うため、所要の改正を行うものです。

▼大田市手数料条例の一部改正「賛成多数」

①建築関係の手数料について、消費税改正に伴う島根県の改定に準じて

所要の改正を行うものです。

②消防関係の手数料について、地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、所要の改正を行うものです。

▼大田市水道事業の設置等に関する条例等の一部改正「全会一致」

川合東部簡易水道事業及び赤波宮農飲雑用水施設事業を平成29年度に水道事業に統合することに併せ、将来の給水人口を見直したことに伴い、所要の改正を行うものです。

▼大田市消防本部及び消防署の設置に関する条例の一部改正「全会一致」

大田市消防本部及び大田消防署の移転に伴い、所要の改正を行うものです。移転後は「大田市大田町大田イイ番地1」となります。



▲新大田市消防本部・消防署庁舎イメージ図（5月27日竣工予定）

▼大田市火災予防条例の一部改正「全会一致」

消防法施行令の一部改正に伴い、条項の移動による改正を行うものです。

▼大田市通学バスの設置及び管理に関する条例の一部改正「全会一致」

本年4月1日から、温泉津中学校及び仁摩中学校の2中学校を統合し「大田西中学校」を開校することに伴い、通学バスの名称を改めるほか、通学バスを利用できる生徒の範囲に、温泉津町飯原地区、上村地区に住所を有する生徒を追加するものです。

▼大田市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正「全会一致」

富山地区体育館及び運動場について、学校施設からの用途変更により新たに体育施設として設置することに伴い、所要の改正を行うものです。

▼大田市社会教育委員の定数及び任期に関する条例の一部改正「全会一致」

昨年6月14日に「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」が公布され、社会教育法が一部改正されたことに伴い、社会教育委員の資格の基準を規定するものです。

▼温泉津町防災行政無線通信施設の設置及び管理に関する条例等の廃止「全会一致」

本年4月1日から、温泉津町及び仁摩町地域において大田市防災行政無線（デジタル同報系）の運用を開始するため、これまでの温泉津町防災行政無線通信施設の設置及び管理に関する条例等を廃止するものです。

【一般議案】

〔9件とも原案可決〕

▼辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定「全会一致」

温泉津町湯里の市道西田境橋線を整備するもので、総事業費2000万円全額を辺地対策事業債で整備を行うことについて議会の議決を求めたものです。

▼大田市過疎地域自立促進計画の変更「全会一致」

平成22年から、産業振興、生活環境等の整備が計画的に実施されてきましたが、新たに過疎対策事業債を充当する事業を計画に登載する必要が生ずることから、その変更について議会の議決を求めたものです。新規事業として、市道山谷線及び栄町大沢線（栄町高禅寺線）の改良事業が追加され

ました。

▼平成25年度大田市水道事業会計資本剰余金の処分「全会一致」

同会計のうち、補助金をもって取得した資産の撤去により発生する損失について、補助金等を源泉とする資本剰余金520万6000円をもって補てんすることについて、議会の議決を求めたものです。

▼平成25年度大田市水道事業会計資本剰余金の減少「全会一致」

同会計資本剰余金のうち、4億8804万1248円を減少し繰越利益剰余金に振り替えることについて、議会の議決を求めたものです。

▼消防防災拠点施設整備事業大田市消防本部庁舎新築工事(建築主体工事)請負変更契約の締結「全会一致」

杭打設工事において、高止まり対策の施工、地中障害物処理を行う必要が生じたため、工事費1317万4350円を増額するものです。

▼消防防災拠点施設整備事業大田市消防本部庁舎新築工事(機械設備工事)請負変更契約の締結「全会一致」

飲料水型貯水槽埋設地における地中障害物処理及び転石による埋設工事工法の変更により、工事費689万1000円を増額するものです。

▼消防防災拠点施設整備事業大田市消防本部庁舎新築工事(電気設備工事)請負変更契約の締結「全会一致」

消防救急デジタル無線機器の詳細設計により、ブレーカー、動力盤などの仕様の変更が生じたため、工事費246万2250円を増額するものです。

▼消防救急無線広域共同整備事業工事委託変更契約の締結「全会一致」

島根県と県下9消防本部が共同で行う共通波整備を進める中で、ルート変更により無線装置の一部の仕様及び数量に変更が生じたため、その負担金を70万1636円増額するものです。

▼市道路線の認定「全会一致」

申請に伴う大田町の小学校北門前線1路線を認定するものです。

【報 告】

▼専決処分事項(損害賠償の報告)

相手方自動車市道走行中、舗装の破損部分に左前輪を乗り入れ、タイヤが破損したものです。損害賠償額は1万7273円です。

【人事議案】

(同意)

▼副市長の選任につき同意を求めることについて「全会一致」

空席となっていた副市長に島根県商工労働部商工政策課長の青木裕志氏を選任することについて同意を求めたものです。任期は4年です。

▼固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて「全会一致」

新副市長となる青木裕志氏の選任について同意を求めたものです。

▼人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて「全会一致」

現委員である宮原良平氏(温泉津町)の任期が6月30日満了のため、その後任として、友村光男氏(温泉津町)を任命することについて意見を求めたものです。任期は3年です。



4月臨時市議会で 審議された内容

(4月21日)

議員提出議案

▼大田市議会委員会条例の一部改正「全会一致」

大田市議会議員定数改正大田市機構改革に伴い所要の改正を行うものです。常任委員会の定数が変更となりました。新体制は2ページに掲載しています。

▼行財政改革特別委員会の設置及び同委員の選任「全会一致」

大田市行財政改革に関する調査検討・意見具申を行うため設置しました。選任された委員は2ページに掲載しています。

市長提出議案

▼専決処分の承認「全会一致」

平成25年度大田市一般会計補正予算(第6号)の承認
・消防防災拠点施設整備事業大田市消防本部庁舎新築工事(建築主体工事・機械設備工事・電気設備工事)請負変更契約の締結の承認
▼監査委員の選任につき同意を求めることについて「賛成多数」

監査委員に木村幸司議員を選任することについて、議会の同意が求められ、これに同意しました。

◇ 1月臨時市議会提出議案等賛否一覧表

議 案 名 等		議決結果	賛成 : 反対
■市長提出議案			
議案第 467 号	大田市部設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	20 : 3
議案第 468 号	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決	20 : 3
議案第 469 号	大田市防災行政無線（デジタル同報系）整備工事請負変更契約の締結について	原案可決	23 : 0

◇ 3月定例市議会提出議案等賛否一覧表

議 案 名 等		議決結果	賛成 : 反対
■市長提出議案			
議案第 470 号	平成26年度大田市一般会計予算	原案可決	21 : 2
議案第 471 号	平成26年度大田市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	21 : 2
議案第 472 号	平成26年度大田市国民健康保険診療所事業特別会計予算	原案可決	23 : 0
議案第 473 号	平成26年度大田市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	21 : 2
議案第 474 号	平成26年度大田市介護保険事業特別会計予算	原案可決	21 : 2
議案第 475 号	平成26年度大田市住宅新築資金貸付事業特別会計予算	原案可決	23 : 0
議案第 476 号	平成26年度大田市生活排水処理事業特別会計予算	原案可決	21 : 2
議案第 477 号	平成26年度大田市簡易給水施設事業特別会計予算	原案可決	21 : 2
議案第 478 号	平成26年度大田市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	21 : 2
議案第 479 号	平成26年度大田市大田市駅周辺土地区画整理事業特別会計予算	原案可決	23 : 0
議案第 480 号	平成26年度大田市下水道事業特別会計予算	原案可決	21 : 2
議案第 481 号	平成26年度大田市水道事業会計予算	原案可決	21 : 2
議案第 482 号	平成26年度大田市病院事業会計予算	原案可決	21 : 2
議案第 483 号	平成25年度大田市一般会計補正予算（第5号）	原案可決	23 : 0
議案第 484 号	平成25年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	23 : 0
議案第 485 号	平成25年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	23 : 0
議案第 486 号	平成25年度大田市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	23 : 0
議案第 487 号	平成25年度大田市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	23 : 0
議案第 488 号	平成25年度大田市生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	23 : 0
議案第 489 号	平成25年度大田市簡易給水施設事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決	23 : 0
議案第 490 号	平成25年度大田市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	23 : 0
議案第 491 号	平成25年度大田市水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決	23 : 0
議案第 492 号	平成25年度大田市病院事業会計補正予算（第3号）	原案可決	23 : 0
議案第 493 号	大田市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について	原案可決	23 : 0
議案第 494 号	大田市災害派遣手当等に関する条例の制定について	原案可決	23 : 0
議案第 495 号	大田市病院事業管理者の給与等に関する条例制定について	原案可決	21 : 2
議案第 496 号	大田市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例制定について	原案可決	21 : 2
議案第 497 号	大田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	21 : 2
議案第 498 号	大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	23 : 0
議案第 499 号	大田市生活バス運行に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	23 : 0
議案第 500 号	大田市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	21 : 2
議案第 501 号	大田市病院事業基金条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決	21 : 2
議案第 502 号	大田市サンレディー大田の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	23 : 0
議案第 503 号	大田市小規模集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	21 : 2
議案第 504 号	大田市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	21 : 2
議案第 505 号	大田市水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決	23 : 0
議案第 506 号	大田市消防本部及び消防署の設置に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	23 : 0
議案第 507 号	大田市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	23 : 0
議案第 508 号	大田市通学バスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	23 : 0
議案第 509 号	大田市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	23 : 0
議案第 510 号	大田市社会教育委員の定数及び任期に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	23 : 0
議案第 511 号	温泉津町防災行政無線通信施設の設置及び管理に関する条例等を廃止する条例制定について	原案可決	23 : 0
議案第 512 号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決	23 : 0
議案第 513 号	大田市過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決	23 : 0
議案第 514 号	平成25年度大田市水道事業会計資本剰余金の処分について	原案可決	23 : 0
議案第 515 号	平成25年度大田市水道事業会計資本金の額の減少について	原案可決	23 : 0
議案第 516 号	消防防災拠点施設整備事業大田市消防本部庁舎新築工事（建築主体工事）請負変更契約の締結について	原案可決	23 : 0
議案第 517 号	消防防災拠点施設整備事業大田市消防本部庁舎新築工事（機械設備工事）請負変更契約の締結について	原案可決	23 : 0
議案第 518 号	消防防災拠点施設整備事業大田市消防本部庁舎新築工事（電気設備工事）請負変更契約の締結について	原案可決	23 : 0
議案第 519 号	消防救急無線広域共同整備事業工事委託変更契約の締結について	原案可決	23 : 0
議案第 520 号	市道路線の認定について	原案可決	23 : 0
議案第 521 号	副市長の選任につき同意を求めることについて	同 意	23 : 0
議案第 522 号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	同 意	23 : 0
議案第 523 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	23 : 0

◇ 4月臨時市議会提出議案等賛否一覧表

議 案 名 等		議決結果	賛成 : 反対
■議員提出議案			
議案第 1 号	大田市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19 : 0
議案第 7 号	行財政改革特別委員会の設置及び同委員の選任について	原案可決	19 : 0
■市長提出議案			
議案第 2 号	専決処分（平成25年度大田市一般会計補正予算（第6号））の承認について	承 認	19 : 0
議案第 3 号	専決処分（消防防災拠点施設整備事業大田市消防本部庁舎新築工事（建築主体工事）請負変更契約の締結）の承認について	承 認	19 : 0
議案第 4 号	専決処分（消防防災拠点施設整備事業大田市消防本部庁舎新築工事（機械設備工事）請負変更契約の締結）の承認について	承 認	19 : 0
議案第 5 号	専決処分（消防防災拠点施設整備事業大田市消防本部庁舎新築工事（電気設備工事）請負変更契約の締結）の承認について	承 認	19 : 0
議案第 6 号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同 意	17 : 1

いっぱん質問

市政に対する一般質問は、3月6日、7日に行われ、10人の議員が執行部の考えをたどしました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は、紙面の都合上、広報広聴委員会で選定し、1人1議題としています。(これまでの内容は、ホームページ(アドレスは1ページ下段に掲載)で閲覧できます。)

▼4月30日 温泉津港沖に停泊中の「いっぼん丸」



▲乗客員を歓迎する地元の子どもたち



▲テンダーボートにて上陸

答弁

①着地型観光への転換を図ることは、現在ある地域の文化・

②平成29年には石見銀山の世界遺産登録10周年を迎える。温泉津においては、町並み環境整備事業などのハード事業と着地型観光などの体制作りのソフト事業を並行して進めながら成果をあげるべきと考えられるがいかがか。

質問

①着地型観光とは、健康ウォークの例にあるように現地の住民でなくてはわからない自然・歴史・文化などの観光資源と交流・体験プログラムなども取り入れた地域発信の観光である。これを商品として官民一体で売り出す取り組みについて伺う。



小林 太 議員

着地型観光と石見銀山世界遺産登録10周年事業への取り組みを伺う
 地域資源に加え、五感を感じた魅力を提供していき、また、実行組織を立ち上げ、市を挙げての取り組みとつなぐ

歴史・自然といったさまざまな地域資源に加え、ウォーキング、陶芸などの創作体験、地元で生産した新鮮な食、さらに宿泊と組み合わせるなど、見るだけでなく、「食べる、飲む、歩く、学ぶ」つくる、触れるといった五感を感じた魅力を提供し、楽しんでもらうことが必要と考えている。

②平成29年の10周年事業については、今後、観光協会を中心に商工団体や民間事業者、まちづくり団体など関係団体との意見交換を重ね、早い時期に事業の取りまとめを行い、実行組織を立ち上げ、市を挙げての取り組みとなるよう考えている。



▲健康ウォーク(温泉津町^{くしほ}檜島周辺)

仁摩地区の道の駅整備の今後の進め方は

石見銀山の玄関口として、「道の駅」設置に向け、本年度より本格的な取り組みを進めていく



塩谷 裕志 議員

インターチェンジが開通する。大田市管内の残る区間も、今後開通する見通しであり、平成30年代前半には山陰道の全線開通が期待されているところである。大田市においては7つのインターチェンジが予定されており、できるだけおいてもいえるよう工夫していかなければならない。

質問

平成26年度の市長施政方針で「山陰道一部開通で、地域振興や広域観光・産業振興に活かすべく、道の駅の整備について検討していく」と表明された。

道の駅は、休憩・情報発信機能と、近年では最重要とされる地域振興機能が、仁摩地区での整備が最良とされている。銀の道商工会でも、既存商業施設との共存共栄の整備でなくては、大田市西部の地域振興につながらないうちを、考えて検討されている。

市として、今後どのように進めていくのか。

答弁

仁摩温泉津道路、湯里インターチェンジから石見福光イ

仁摩地区の「道の駅」整備については、国・県との協議を行ってきたところである。ロード銀山と道の駅サンピ、江津間のちよつと良い位置でもあり、また世界遺産石見銀山遺跡の玄関口として、その集客力と市全体への経済波及効果を期待できることから必要性は高く、市としても積極的に取り組んでいきたい。



少子化対策として、「恋愛」や「結婚」をめぐる政策的対応の論議を深めていくべきでは

大田市の活性化を進める上では未婚化の課題解決は重要である



吾郷 浩之 議員

質問

大田市では、少子化対策として主に「子育て支援策」を中心に組み込まれてきた。その重要性は変わらないものの、今後の出生数の増加策が重要であり、「恋愛」や「結婚」をめぐる政策的対応のあり方等について議論を深めていくべきである。そこで伺う。

①20～30歳代の未婚者の人数はどれくらいか。
②未婚化がもたらす問題をどう捉えているのか。
③結婚を促進する「結婚コーディネート」等を配置する考えはあるのか。

7%、女性851人、62.3%、30歳代では男性492人、32.9%、女性231人、14.7%である。
②未婚化は人口減少と少子高齢化を招き生産年齢人口の減少による労働力不足、後継者不足、さらに産業活動の停滞や地域「コミュニティ」力の低下など地域社会にさまざまな影響をもたらすものと認識している。
③結婚コーディネーターの配置は現時点では考えていない。ただし、しまね縁結びボランティア協議会、島根はっぴーコーでいねーたーという組織もあり大田市にも5名の登録者がおられるので、こういった方々あるいはこうした協議会と連携していきたい。
結婚奨励金についても現時点では考えていない。未婚化について行政がどこまでかかわるか、という点で、お伺いしたい。

答弁

①平成22年国勢調査によると20歳代では男性995人、75



定住対策の成果と教訓、26年度の 取り組みを伺う

社会動態にかかわる急激な人口減少対策として
一定の効果があった



福田佳代子 議員

市定住促進ビジョンを策定した。第二次ビジョンでは、就業支援、子育て支援、空き家活用等促進対策、ふるさと愛を育む対策の4つを柱とし、市内各種団体の参画によるおだ定住促進協議会を設立した。また、定住促進員を2名体制とし、空き家活用対策、定住相談、定住者フォローアップなどを行った。

中でも、空き家活用対策として定住専用サイト「おだごが」を開設し、全国に向けて定住関連情報の発信を行った。さらに、定住奨励金の交付、住宅の補助制度の創設、田舎体験ツアー、婚活事業等さまざまな取り組みを行った。成果として、U・ターン者といわれる定住者数は、165世帯、400人である。

教訓としては、地域のもつ総合的な魅力を定住希望者に親身になって親切な対応をする点に力を入れる。

平成26年度の取り組みについては、引き続き各種定住施策を総合的に進めるとともに、定住者交流会を開催するなど定住者のフォローアップを図っていく。

答弁

平成19年に大田市定住促進ビジョン、昨年には第二次大田

大田市のこれまでの定住対策の成果と教訓について、平成26年度の取り組みについて伺う。

大田市環境基本計画および一般廃棄物処理 基本計画について伺う

今後とも、環境基本計画に基づき、目指す環境像の実現に向けて、総合的かつ計画的に推進していく



松村 信之 議員

大田市環境基本計画および一般廃棄物処理基本計画について伺う。

- ①基本計画の前に、まずは環境に対する条例を制定するべきではないのか。
- ②目標達成に、自然環境と循環型社会の構築、3Rから4Rへの提言、さらにごみの減量化をどう進めるのか。そして環境保全活動については、どのように展開されるのか。
- ③次期可燃ごみ処理システムについて、方向性を含めスケジュールなどはどのように展開されるのか。

岐にわたっており、今後の環境を取り巻く動向等を見ながら条例の制定について検討する。

②自然環境における海岸漂着ごみの防止対策について、海岸漂着物処理推進法に基づき、引き続き国へ恒久的な財源措置を要望する。循環型社会の構築として、ごみ処理基本計画で示している施策に加え、新たな取り組みも実施したいと考えている。燃やせるごみの約半分を占める生ごみについては、先進地の事例等を調査し、減量化に向けた施策を検討していく。

3Rに加え、リフューズ(不必要なものは買わない)、リペア(修理して使う)、リフォーム(つくり直す)の3Rが加えられ、6R運動などが展開をされている。マイバッグ運動などですでに展開もしており、今後の取り組みの参考にさせていただきます。

③平成35年度の新たな可燃ごみ処理システムの構築に向け鋭意取り組みを進めていく。新年度では単独処理、広域処理及び民間委託の処理方法について、その経済性、利便性、環境負荷などの比較を行い、総合的に判断をしていきたい。

答弁

①今日の環境問題は、水や大気などの生活環境の保全やごみ処理などの地域固有の課題から、地球温暖化を始めとした地球規模の課題まで多

地域包括ケアシステムの構築をめざした取り組みを

システム構築にしっかり取り組む



石田 洋治 議員

質問 2025年以降、日本は「団塊の世代」が75歳以上となり、未曾有の超高齢社会となる。この超高齢社会を見据え、医療や介護が必要になった際、高齢者が住み慣れた地域で医療、介護、福祉サービスを一体で受けられる「地域包括ケアシステム」の構築に向けた体制の整備が必要となる。

これまでの第5期介護保険事業計画の取り組みと、2025年を見据えた第6期計画における地域包括ケアシステムの構築をめざした取り組みについて所見を伺う。

答弁

地域包括ケアシステムについては、平成24年の介護保険法の改正により、第5期介護保険事業

計画において推進していくこととされた。本市においても、第5期介護保険事業計画において地域包括ケアシステムの構築を目指すことを基本としている。

介護サービスでは、随時訪問や宿泊を組み合わせて提供する小規模多機能型居宅介護の増設、介護予防では、認知症重度化予防の市民講座、高齢者介護予防まちづくり交流事業、権利擁護では、一般市民の方が将来市民後見人として活動できるよう養成を行っている。さらに地域包括支援センターの機能強化を行い、このセンターが中心となり、医療、介護等のさまざまな関係者による個別ケースの支援検討を行う地域ケア会議を開催している。

これら各種の施策を着実に講じ、地域包括ケアシステムの構築にしっかり取り組む。



▲市民後見人養成講座の様子 (市民センター4階)

大田市駅周辺東側まちづくり事業の考えは

しっかりと地域関係者に説明を行い事業を進める



内藤 芳秀 議員

質問 大田市駅周辺東側まちづくり事業、26年度施政方針において、事業区域の都市計画決定及び都市計画道路の変更手続きを進めていくという計画である。駅前地区の住民は、駅東側まちづくり事業をするのかしないのか、疑心暗鬼になっている。このエリアの、県による県道三瓶山公園線の振替事業と併せ、地域の方に市の考えをはっきりと説明し、周知を図る必要があると考える。見解について伺う。

答弁

平成23年度から、地域住民、周辺住民、関係機関、関係団体と協働による新たなまちづくりを考えるワーキングを行い、それに伴い協

議会を設置し検討してきた。

24年度には、実際の手法について検討を行い、道路と周辺の土地利用が一体的に整備可能な沿線区画整備型街路事業の考えに沿ったものにした。

25年度には、現地の測量調査を実施している。今後進めていく事業に必要な地籍調査事業も実施しており、今年度中に完了する予定である。

今後の進め方として、地域関係者に十分説明をし、26年度には、整備区域の決定と事業計画の策定を行い、27年度中の事業認可を目指している。また、長期未着手道路の見直しと、島根県へ重点要望をしている栄町高禪寺線の道路改良に必要な都市計画道路の変更手続きもあわせて進めたい。



▲大田市駅周辺

山陰道、温泉津インターチェンジの整備を求める

舗装工事は開通に間に合わせ、国土交通省負担で工事を実施する



河村 賢治 議員

質問

3月14日大田市で初めての山陰道が開通する。安全な道路でなければならぬと思うが、突然山道に出たような感じがある。

①温泉津インターチェンジから国道9号までの道路は、大田市道であり路面も悪いが、このままで開通するのか。整備についてはいかがか。

②また、国道9号への出口が狭く、もう1車線分は広くすべきと考ええるがいかがか。

③出口から見て右側、江津方面は非常に見えにくく、山を削るか、構造物の移設を考えないと危険な接続部である。観光客の出入りにはふさわしくないと思うがいかがか。

答弁

①昨年12月の段階では、このような話はなかったが、議員の質問通告以降に、工事道路としても使ったので整備をするという運びとなった。3月15日の開通に間に合わせるつもりである。

②出口の幅については、現地で国土交通省あるいは、公安委員会と協議をしたいと思う。

③ここは信号をつける可前後にカーブがあるなど危険である。見通しについては非常に厳しいと承知している。できるだけ国土交通省に要望してほしいが、すべてを要求するのは難しい。

り、今後協議をしていく。



▲温泉津インターチェンジから国道9号線への出口

市内の誘致企業・地場産業・臨時職員等の善処策を

地域経済の活性化と好循環をもたらすよう、最善の策を考えていく



清水 勝 議員

質問

脱フレ・景気回復に向けた雇用環境の改善のため、政府・経団連において、大企業だけでなく中小企業や臨時職員等の賃上げを含めた支援策が講じられている中で伺う。

①市内での景気の動向に併せ、誘致企業・公契約事業者の業績及び賃上げの実態把握と要請方。

②民事再生法の適用を申請されている石州瓦メーカ(株)セラミカ等の主要地場産業の現状把握と振興策に産業支援センターは機能しているか。

③年収200万円以下のワーキングプアといわれる方への処遇改善は。

交換をしながら行っている。大田市でも、このような国、県等の経済対策事業の活用や当市独自の産業振興施策を推進することで、地域経済の活性化と好循環をもたらすよう取り組んでいきたい。

②産業支援センターは昨年6月に立ち上げた。個別に石州瓦の販路開拓、利用の個別支援を行っている。セラミカの事項と産業支援センターの取り組みは少し次元が異なるが、関連する事業者瓦産の皆さんの新たな事業の取り組み支援、資金繰りの関係等について、ワンストップサービスの窓口となるよう取り組みたい。

③賃金、報酬については、これまで一般職員の給与改定状況並びに県内他市町村の非正規職員の賃金改定状況を勘案する中で、随時処遇改善を行ってきた。今後についても、社会経済動向、あるいは県内他市の情勢など、さまざまなることを勘案し、非正規職員の労働環境を含めた処遇改善に努めたい。

答弁

①市内の誘致企業の状況については、定期的に会社へ伺い、情報



エネルギー自立地域形成の計画策定を 求める

実効性のあるものとして策定することは、様々な面で国
の関与や対応が必要であることから、困難である



大西 修 議員

質問

島根原発・エネルギー問題
県民連絡会は、国の原発
エネルギー施策にとらわれず、島根
県のエネルギー自治の確立を図る
自立地域推進基本条例の制定署名
を大田市選挙管理委員会へ提出し
た。

大田市では、有効署名数5937
人で、有効署名率は県内8市の中で
一番の18.7%だった。このことは、
条例への期待度の高さを示す。

①エネルギー自立地域形成の計画
策定②大田市地域新エネルギービ
ジヨンの進捗状況を伺う。

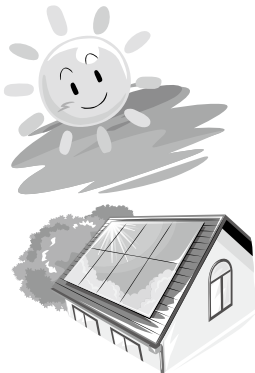
答弁

①エネルギー自立のための基
本計画を現実的で実効性のあ
るものとして、本市が策定するにつ

財源の確保、電力安定供給のための技
術開発、発電に適した用地の確保や土
地利用の規制緩和など様々な面で、国
の関与や対応が必要であることから、
到底困難であるものと考ええる。

②平成24年度に新エネルギー推進室を
設置し、庁内関係課で構成するプロジェ
クトチームを立ち上げ、自然エネルギ
ー導入の可能性や具体的な施策などの
調査検討に必要な基礎調査を行った結
果、本市としては太陽光発電並びに木
質バイオマスを重点的に取り組むと判
断した。

今年度は、引き続き調査検討を行う
とともに、木質バイオマスについてはプ
ロジェクトチーム内に木質バイオマス
活用検討会を立ち上げ、具体的な取り
組みについて検討を行っている。今後と
も国のエネルギー政策の動向を踏まえ
積極的に取り組んでいく。



1月臨時市議会で 審議された内容

(1月24日)

市長提出議案

▼大田市部設置条例の一部改正
〔賛成多数〕
〔3件とも原案可決〕

多様化・複雑化する市民サービ
スや行政課題等の行政ニーズに柔軟
かつ迅速に対応できる行政執行体
制を構築するため、組織を見直し、
次のとおり再編するものです。

- ①「政策企画部」の新設
 - ②「市民生活部」を廃止し「健康福
祉部」と「環境生活部」を新設
- 施行日は4月1日からとするもの
です。

▼大田市まちづくりセンターの設置
及び管理に関する条例等の一部改
正〔賛成多数〕

消費税法の一部改正により、消費
税率及び地方消費税の合計税率
が5%から8%に改定されたこと
に伴い、所要の改正を行うもので
す。施行日は4月1日からとするもの
です。

▼大田市防災行政無線(デジタル同
報系)整備工事請負変更契約の締結
〔全会一致〕

温泉津町小浜地内の防災行政無
線整備に関し、設備の使用予定地の
所有者変更につき、撤去及び新設経
費が必要となったため、工事費を増
額するものです。

全員協議会の議題

～議案の審査または議会の運営に関し
協議・調整を行います～

- 1月24日.....
 - ・組織機構の見直しについて
 - ・大田市地域福祉計画(平成25年度改訂案)に
ついて
 - ・大田市環境基本計画(素案)及び大田市一般
廃棄物処理基本計画(素案)について
- 2月26日.....
 - ・大田市立病院について
 - ・地方公営企業会計制度改正概要について
 - ・公営企業決算審査特別委員長対応調書につ
いて
- 3月4日.....
 - ・大田市簡易水道等統合基本計画について
 - ・大田市立第一中学校体育館改築工事に
ついて
- 3月10日.....
 - ・学校プールの今後のあり方について
 - ・波根地区工業団地への企業進出について
- 3月20日.....
 - ・平成23年度財務書類について
 - ・大田市人権尊重のまちづくり条例(仮称)に
ついて
 - ・平成26年度組織機構について(報告)

**大田市立病院医療確保等
調査検討特別委員長最終報告**



小林 委員長
小 委員長

2月19日に第13回の委員会を開催した。議題は、大田市立病院の医療状況、新病院建設、地方公営企業法の全部適用に伴う市立病院の運営強化についての3点である。

◎医療状況

患者動向の入院患者数は167・9人、外来患者数は380・4人、救急患者数は一日平均16・5人で微増傾向である。消防救急搬送状況は、4月から1月までの集計で1347人。うち大田市立病院の受け入れは780人。ドクターヘリ搬送は78人、平均して4日に1回という状況である。

主な質疑として、①ドクターヘリの離着陸場で農林大学が15件と多い理由は、②音声告知放送で「整形外来は予約患者のみ」としている内容と患者制限について。

答弁では、①たまたま農林大学周辺の開業医からの案件が多かったため。②告知放送内容は改善を図っている。非常勤講師での対応であるため制限せざるを得ないことをご理解いただきたい。

◎新病院建設

今後、ブロックプラン、平面計画、医療備品のレイアウトを進め、3月末には基本設計を終える。新年度は、実施設計、用地造成、用排水路の付け替えを実施する予定である。

主な質問として、①回復期リハビリテーション病棟機能としてプールを使ったりハビリは、②リハビリ病棟内部に柱があるが、有効的な空間スペースは確保できるか、③歩行訓練場所は、④病床入院患者の車いすでの避難対応は、⑤人間ドックや検診時の機器集約化は、など。

答弁では、①病棟へのプール設置はできない、②この柱のスペースは耐震構造として必要である、③訓練場所には病棟前のテラスなどを使用する予定、④今後検討する、⑤できるだけ考慮するが、重複設置は困難。

◎全部適用に伴う市立病院の運営強化

今後、事務部の支援体制の強化、島根大学・しまね地域医療支援センターとの連携、人事評価制度の導入に併せその制度設計、各部門での責任体制の明確化、医療機能では新規診療報酬加算の効果を見定めながら人的体制確保、病病・病診連携では、回復期リハビリテーション病棟の試験運用、「まめネット」への参画等を進めていく必要があるとの説明であった。

以上、最終報告とするが、当委員会解散にあたり、以下、提言する。

提言

1. 大田市立病院は政策医療を担う大田二次医療圏の中核病院としてその使命を全うするため、新大田市立病院建設・開院を利点とし外部へアピールをしつつ、働いてみたい病院としてイメージ化できるように努め、医師、看護師等スタッフ確保を図っていただきたい。
2. 外来、入院、救急等全ての医療現場においては患者の声を大切に、今後も引き続き、患者サービスの精神で接していただきたい。
3. 大田市立病院の経営改善については、この4月より地方公営企業法の一部適用に移行する。新たな運営形態、事業管理者のもと経営努力を具體

行財政改革特別委員長最終報告



浦 委員長
三 委員長

2月18日に最終となる第16回の委員会を開催した。まず執行部から、当特別委員会が2か年にわたり意見具申してきた各項目について、新年度における対応方について説明があった。

的、計画的に進め、大田市からの支援、市民からの様々な協力を得て健全化に向けまい進することを望む。

4. 総合医療育成センターは大田市立病院の大きな強みである。今後ともセンターの更なる充実を図り、地域医療を含めた医療確保に努めていただきたい。
5. 新大田市立病院建設についてはスタッフ・設備等を有効に機能させ患者優先の内容とし、医療、介護、福祉、健康の拠点として市民から愛される病院として生まれ変わるべく設計・施工を願いたい。
6. 最後に市民、議会、行政は将来にわたって大田市立病院に誇りを持ち、医療はもとより予防医学、学術研究など多面的に活用し、様々な発信ができる病院となることを熱望する。

①入札制度

電子入札を本年10月から新たに実施し、総合評価方式を複数回予定している。市内業者の育成については、特記仕様書に地元市内業者を最大限使用することを明記し、最低制限価格の引き上げと労務単価引き上げを実施する。

意見として、これらの取り組みには公契約の公平・公正・透明性を引き続き堅持し、地域経済の確固たる基盤づくりのために市内事業者の更なる育成に努めることを望む。

②まちづくり関係

新年度は現行体制を維持しつつも年度内に新しい体制に向けた一定の方向性を見出すため、当委員会の提言やアンケート結果、各まちづくりセンターの声を参考にしながら庁内協議を進め、よりよい体制整備の構築に努めたい。

意見では、それぞれの地域が特色を生かし、活性化に向けた自由な取り組みができるよう柔軟で機能的な仕組みづくりを期待する。

③審議会等にかかる報酬

当委員会が指摘した「会議の活性化」と「幅広い人材登用」に関しては真摯に受け止め、市政発展に向けて会議のあり方・充実にしっかりと取り組み、報酬審議会の開催も前向きに検討したい。

③第2次大田市行政改革大綱の最終年にあたって

現行の行革大綱が幅広い分野・項目を網羅しており、これを踏襲することを基本としながらも、ファシリテーターマネジメント（公共施設の管理・運営）など新しい視点も取り入れる中でリニューアルし、新年度中に一定の方向性を判断するということであった。

以下、今期2年間の取り組みに対する感想・反省と時期への提言など意見集約を行ったので報告する。

◎2年間の取り組みに対して

これまでと手法を変え、毎回、具体的に審議テーマを絞り、市民との意見交換を行うなどの調査研究や議員相互の討議の場を数多く設け、それを意見集約し、テーマごとに委員会としての建設的な意見具申、政策提言ができたのではないかな。

◎事務事業評価に関して

試行的に実施したが、9月定例会に設置される決算審査特別委員会のあり方を発展的に充実させることも、議会が有する、執行機関に対する監視及び調査、評価機能を最大限生かし集中的に審査する場として、事務事業評価はとも有効であり、今後とも継続して実施すべきである。

◎総体的な意見として

中期財政見通しは非常に厳しく、今後とも健全な財政運営に努めるべきであり、指定管理者制度、民間活力の導入などを積極的かつ的確に行い、行政改革を着実に推進していくため、新議会においても当特別委員会の設置を強く望む。

◎委員長総括

経営的視点を持って大田市行政を進めるとともに、自主財源の確保を実現するための施策展開には積極的かつ大胆に取り組み、より強固で永続的な大田市の財政基盤を構築することを切に願う。

以上、最終報告とする。

反対・賛成討論(要旨) 〔平成26年度一般会計〕

定例会最終日の表決に先立って行われた反対・賛成討論の要旨は次のとおりです。

〔反対討論〕



大西 修
議員

4月からの消費税3%引き上げにあたっては、市政が市民のくらしと福祉を守る防波堤となるべきであり、各種公共料金への増税分3%の転嫁は行つべきでないと考ええる。

反対する理由は次のとおり。

1点目は、住宅リフォーム等促進事業。消費税増税前にも駆け込み需要がなしいのは、この事業に魅力がないからであり、2元の上限10万円に戻すべきである。

2点目は、有害鳥獣被害対策事業。高齢化が進んだ中山間地域において実施できるのか疑問である。

3点目は、子ども子育て支援新制度保育システム構築事業。この新制度は、公的保育制度の根幹を解体するものであり、反対である。

4点目は、学力・教育力向上プロジェクト事業。子どもたちをいかに分ける学

力テストには参加せず、行き届いた教育実現に向けて教育予算を大幅に増額すべきである。

以上、反対討論とする。

〔賛成討論〕



松村 信之
議員

新年度予算は対前年度比5.2%減であり、大型プロジェクト事業が一段落し、身の丈にあつた積極的な予算編成がなされている。

歳入では、4月からの消費税3%引き上げで市民に負担がかかるものの、社会保障費施策への充当額及び充当事業はきちんと示されている。

歳出では、大田市総合計画に掲げる基本方針に基づき対応されている。

産業振興策では、厳しい経済情勢に対応するため、産業支援センター運営事業や企業支援、生活支援、雇用・景気対策など総合的な対策が講じられている。

大田市立病院は、新病院建設の準備も進み、市立病院の体制を大田市が一体となつて支えて地域医療を守る姿勢が見られ、今後に期待するものである。

厳しい状況の中でも市民ニーズを適確に反映した予算であると評価し、賛成討論とする。

視察受け入れ

視察日	議会名	人数	視察項目
1月27日	東京都足立区議会	4名	障がい者の就労支援(手作りマーケット)について
2月 3日	岡山県笠岡市議会	8名	議会改革について

新総務教育委員会委員紹介

4月の改選により、委員会のメンバーも新体制となりました。今回より3回にわたり、各委員会ごとに議員の紹介をしていきます。まずは、総務教育委員会のメンバーです。総務教育委員会は7名で、政策企画部、総務部、消防部、教育委員会等を担当しています。【紹介内容】→①生年月日(歳) ②血液型 ③趣味 ④チャームポイント ⑤好きな芸能人 ⑥大切にしている物 ⑦議員としての抱負 次回も楽しみに待っててください!



小林 太 委員長

- ①S28. 6.17(60歳)
- ②B型
- ③映画
- ④大きな身体
- ⑤黒木瞳
- ⑥年代物のウイスキー
- ⑦何事にも夢をもってあきらめない



三浦 靖 副委員長

- ①S48. 4.9(41歳)
- ②B型
- ③読書、映画鑑賞
- ④えくぼ
- ⑤吉瀬美智子
- ⑥故郷
- ⑦市民の笑顔が増すこと



石橋 秀利 委員

- ①S25. 5.9(64歳)
- ②B型
- ③音楽鑑賞
- ④ポジティブなお腹
- ⑤佐藤浩市
- ⑥レコード
- ⑦原点回帰



有光 孝次 委員

- ①S29. 2.4(60歳)
- ②B型
- ③登山
- ④眉毛
- ⑤特になし
- ⑥心身
- ⑦一生懸命



松葉 昌修 委員

- ①S23. 11.16(65歳)
- ②B型
- ③野球(現在休暇中)
- ④笑顔(笑)
- ⑤特になし
- ⑥故郷
- ⑦地域に活力を生み出す「まちづくり」への取り組み



松村 信之 委員

- ①S30. 4.27(59歳)
- ②O型
- ③野球観戦、園芸
- ④豪快な笑い声
- ⑤笑福亭鶴瓶
- ⑥自然
- ⑦「一意専心」まちづくりに努めます



胡摩田弘孝 委員

- ①S30. 9. 25(58歳)
- ②AB型
- ③農業
- ④あだ名の「コマちゃん」
- ⑤剛力彩芽
- ⑥家族、支持者の皆様
- ⑦夢実現を目指し、日々の精進

議会傍聴のご案内

次の定例会は**6月10日から23日**までの予定です。市議会を身近に感じる良い機会です。お気軽にお越しください。

- ◇傍聴席は定員64人です。
- ◇多数で傍聴に来られる場合は、あらかじめ議会事務局へご連絡ください。



広報広聴委員会

小川 和也 委員
三浦 靖 委員
大西 修 委員
河村 賢治 委員長
石田 洋治 副委員長
松村 信之 委員
森山 幸太 委員
森山 明弘 委員

坂根印刷 納

編集後記

この度の改選により、臨時議会が開かれ各委員会構成が決定されました。そして、広報広聴委員も新しく8名が決定しました。広報広聴委員会は、大田市議会基本条例を念頭に活動をしています。市民の皆様との意見交換の場である議会報告会の進め方については、議長をはじめ議会内での調整も行い組み立てていくこととなります。広報広聴委員8名は、より分かりやすい議会情報を皆様へ提供できるよう努力をまいりますので、よろしくお願ひします。議会報告会にも多くの皆様のお出立をお待ちしております。

(河村 賢治)

